

会議録

| | |
|---------|---|
| 会議の名称 | 男女平等参画推進委員会 令和5年度 第6回 |
| 開催日時 | 令和5年12月26日（火曜日） 午後6時15分から8時00分まで |
| 開催場所 | 田無庁舎5階 502会議室 |
| 出席者 | 出席：小澤委員長、安田委員、山辺委員、横森委員、井上委員、篠宮委員、平委員、山田委員、五十嵐委員、鈴木委員、高岡委員、堀内委員 欠席：笹川副委員長、中村委員、星委員 事務局：高橋部長、和田課長、徳丸係長、藤野主査、苅込主任 |
| 議題 | (1) 令和5年度第5回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について (2) 第4次計画実績評価報告書（令和4年度）について (3) 第5次男女平等参画推進計画について (4) その他 |
| 会議資料の名称 | 【配布資料】 (1) 令和5年度第5回男女平等参画推進委員会会議録（案） (2) 【資料1】第4次計画実績評価報告書（令和4年度）（これからの課題） (3) 【資料2】第5次男女平等参画推進計画（計画案） (4) 【資料3】西東京市第5次男女平等参画推進計画等（素案）に関する市民説明会及びパブリックコメントの結果について (5) 【資料4】第5次男女平等参画推進計画（概要版案） |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |

会議内容

【開会】

- 事務局：これより令和5年度第6回男女平等参画推進委員会を開催する。
事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。
続いて事務局より配布資料を確認した。
傍聴人が4名いることを報告し、入室を促した。
- (1) 令和5年第5回男女共同参画推進委員会会議録の承認について
- 委員長：議題「(1) 令和5年第5回男女共同参画推進委員会会議録の承認について」、お手元にある会議録(案)を少しお読みいただいて、ご意見を伺いたい。
(黙読)
- 委員長：時間になったので、ご意見のある方は発言をお願いしたい。
(意見なし)
- 委員長：特にご意見はないようなので、この内容で決定とさせていただきたい。
(異議なし)
- (2) 第4次計画実績評価報告書(令和4年度)について
- 委員長：事務局から説明をお願いしたい。
事務局から「【資料1】第4次計画実績評価報告書(令和4年度)(これからの課題)」を用いて、説明を行った。
- 委員長：ご意見のある方は発言をお願いしたい。
(意見なし)
- 委員長：特にご意見はないようなので、この内容で決定とさせていただきたい。
(異議なし)
- (3) 第5次男女平等参画推進計画について
- 委員長：事務局から第5次男女平等参画推進計画について説明をお願いしたい。
事務局から「【資料3】西東京市第5次男女平等参画推進計画等(素案)に関する市民説明会及びパブリックコメントの結果について」を用いて、パブリックコメント、市民説明会の実施結果を報告した。
SRCから「【資料2】第5次男女平等参画推進計画(計画案)」、「【資料4】第5次男女平等参画推進計画(概要版案)」を用いて説明を行った。
- 委員：コラムや図が追加されたことでより親しみやすく、読んでみたくなるような仕上がりになったと感じた。58頁の課題4の一段落目に男性正社員・正職員、女性正社員・正職員以外の所定内給与額の平均が比較されているが、違う雇用形態で比較しているのは何故か。男女間で

- 賃金格差があることを明記するためにも、女性の正社員・正職員の給与も記載したほうがわかりやすいのではないかと。
- SRC：男性は約8割が正規雇用、女性は半数以上が非正規雇用と男女で雇用形態のボリュームゾーンが異なっており、その上で雇用形態別の給与を示すことで女性のほうが経済的に厳しい状況にあることを説明している。ご意見を踏まえ、どちらも情報も掲載したい。
 - 委員：前回指摘した58頁の課題4の最終段落に記載の「女性であることに加えて」以下について、修正いただいた内容で問題ない。「高齢、障害、外国籍であったり外国にルーツを持っていたりすること等を理由に困難を抱えている場合、さらに複合的な困難を抱える恐れがあります。」は、複合的な困難を抱えた女性がこうした理由で更に困難が複合的になる、困難を抱えている女性が高齢等によって更にその困難が複合的になる恐れがある、としてはどうか。事業一覧の担当課欄に関係各課と併記してあることから、この問題は他部署と連携して解決すべきものであることがよく見えてくると感じている。
 - 委員：用語集のページに※マークは初出単語に記載している旨を明記したほうが良い。66頁の（市民調査）に※マークが付いているが用語集と同じ表現で紛らわしく意味がわかりにくい。
 - SRC：ご意見を踏まえ、用語集に※マークの意味を記載したい。66頁は各指標の出典元を意味するためその旨を記載したい。
 - 委員：困難を抱える女性への支援に関する計画について現在都の動きも明確ではない中でも、現在の計画案では女性支援新法の基本理念等に触れられておらず、この法律の重要性を強調するためにももう少し法律に則って文言等を再考してほしい。43頁の課題4－施策（1）の2行目の「乗り越える」は「認め合う」にしてはどうか。
 - 委員：9頁の（1）、ジェンダー平等とジェンダーの説明で「とは」という表現が重複していて気になった。用語集で抜粋掲載した用語の定義は何か。また、「性自認（ジェンダーアイデンティティ）」は「ジェンダーアイデンティティ」で用語集を見た時に見つけづらいと感じた。
 - SRC：近年の動向等を踏まえ、第4次計画に未掲載の用語の掲載や説明の更新を行っている。
 - 委員：日々言葉が進化しており「ワーク・ライフ・バランス」も別の言葉や新たな意味が生じている中で「ワーク・ライフ・バランス」を使用している理由を教えてください。
 - SRC：国の計画で使用されているため、それに倣っている。
 - 委員：東京都の「ライフ・ワーク・バランス」を採用しなかったのは何故か。
 - SRC：「ワーク・ライフ・バランス」のほうが世間に浸透している表現であり、計画を見る市民にとってもわかりやすいため、国の表現を使用している。
 - 委員：計画策定の委託業者はどのように選んでいるのか。応募制か。
 - 事務局：プロポーザル形式をとり、複数社について企画提案内容や会社の規模等を庁内で総合的に検討・判断して決定している。
 - 委員：78頁の委員名簿で私の名前が間違っている。
 - 事務局：失礼いたしました。修正する。
 - 委員：前回の委員会で指摘した重点課題への強化・新規事業の掲載はどうなったのか。強化・

新規事業の基準等を改めて伺いたい。

- SRC：重点課題への新規・強化事業の掲載は担当部署との調整も含めて事務局側で検討中のため、次回2月の会議で報告したい。
- 事務局：2月は計画案の確定を予定しているが、文言等の微修正は可能である。
- 委員長：概要版のボリュームは決まってるのか。
- SRC：8ページを予定している。
- 委員：体系図の実線を点線にしたのは何故か。
- 事務局：概要版への修正が間に合わず恐縮だが、実線のほうが綺麗に見えるため計画書、概要版ともに点線を実線に変更予定である。
- 委員：6頁下部の余白に計画案54頁のコラムを掲載してはどうか。
- SRC：ご意見を踏まえ検討したい。
- 委員長：表紙は多数決で決めるのか。
- 事務局：ブラッシュアップのためのご意見等を伺いたい。
- 委員：様々な色を使っているがSDGs等を意識しているのか。
- SRC：男は青、女はピンクのような無意識の思い込みにとらわれないという意味で様々な色を使用している。
- 委員：色や形の印象から多様性を表すレインボーをイメージしていると感じた。7色使用しているのか。
- SRC：ご認識のとおりである。
- 委員：表紙は安定感が重要と感じる。A3案とA4案は少し右寄りで安定感に欠けA2案はぼんやりした印象であるため、強いメッセージを打ち出すのであればA1案が好ましいと感じる。
- 委員：A2案は淡い印象が第4次計画と重なるため、A1案のほうが新しさを感じる。
- 委員：SDGsを強く打ち出すためにジェンダー平等のロゴマークを入れてはどうか。
- SRC：SDGsのロゴ使用ガイドラインを確認して、掲載について検討したい。
- 委員：全体を□ではなく○にして地球を表してみるのも面白いと思う。
- 委員：今回はタイトルを一行にしているため、イラストに圧倒されて若干表紙のタイトルが弱い印象を受けるため、イラストを少し小さめにしてタイトルを目立たせたほうがインパクトが出るのではないか。
- 事務局：A1案をベースに数パターン作成して2月の会議より前にご確認いただき、それをもって表紙へのご意見は締め切らせていただきたい。
- 委員：第4次計画のようにイラストの上にタイトルを載せてはどうか。
- SRC：今回は強めの色を使用しているので文字が沈んでしまう可能性がある。
- 委員：文字が載っている箇所だけイラストをA2案のように薄くすることはできないか。また、A3案、A4案のようにタイトルのフォントサイズを大きくすると表紙らしきが出るのではないか。

- SRC：イラストを薄くすることは可能ではあるがインパクトは薄れると考えられる。タイトル部分はデザイナーと調整したい。
- 委員：女子差別撤廃条約は男女平等、ジェンダー平等の鍵となるため、女子差別撤廃条約と男女共同参画社会基本法は入れていただきたい。
- 委員：計画書に根拠法を載せることは大切であると思う。

(4) その他

- 事務局：追加のご意見は1月12日（金）までご連絡いただきたい。いただいたご意見を反映して次回2月6日の会議にて最終案として提示させていただく。多少の文言修正は可能だが、大きな変更は難しいためご承知置きいただきたい。次回は会議後に懇親会を開催する予定であるため、詳細について後日ご連絡させていただく。
また、本日パリテ祭りの案内を配布している。2月17、18日に開催予定で、今回は若年層の認知度が低いこともあり、住吉会館だけではなく田無でも子育て世代やワーク・ライフ・バランスを意識していただきたい世代に届くように子どもとの観劇や講座等を計画している。
- 委員長：以上で令和5年度第6回男女平等参画推進委員会を閉会とする。どうもありがとうございました。